

項番	ご質問・ご意見（事前）	回 答
1	<p>今年度は、蓄積された相談記録のデータをベースとして、「AI等のデジタル技術を活用した福祉相談を担う相談支援員の人材育成」に取り組まれたとのこと、例えば、「人材育成検証環境」だけを利用することができるのか、また、地域の実情も北海道と沖縄では大きく異なるように、どのくらいの単位や、範囲で「人材育成検証環境」を作り上げていくのか、お尋ねしたいと思います。</p>	<p>今年度は、相談記録プラットフォームの機能（任意機能）としての検討を行ってまいりましたので、現時点におきましては、単独での利用については、想定していなかったところですが、ご意見として頂きましたようなニーズが存在することについても、今回認識いたしました。</p> <p>また、今年度は多機関協働事業者の人材育成を想定した人材育成機能として検討を行っているところですが、検証時や検討会を通した課題として、回答にあたってより多くの内容を求める声もある一方で、支援員側で考えた方がよいとの意見もあり、AIに求めるニーズに幅があるということが明らかになっております。この課題への対応策としましては、導入する自治体のニーズを把握し、必要に応じてデータを収集し、チューニング等を行うことで、最適な回答の出し方を探っていくことが必要であると考えています。（事前送付資料P25参照）</p>
2	<p>①おそらく事業報告会の中でご説明いただくのだろうと思いますが、相談記録プラットフォームの進捗状況について、実際に製品化され、各市町で利用できるようになるのはいつごろになる想定かを教えていただきたいです。</p> <p>②重層的支援体制整備事業に係る相談記録プラットフォームに係る共通化推進方針のスケジュールに記載されている、プロトタイプ実証検証2（モデル自治体以外）の開始時期はいつごろの予定でしょうか。</p>	<p>①本事業での相談記録プラットフォームの開発の進捗状況については、事業報告会でご説明させていただきましたとおりとなります。</p> <p>また、プラットフォームの製品化は、令和9年度の標準仕様書の作成以降、製品化を希望する業者において行われることとなります。</p> <p>②ご質問につきましては、厚生労働省・内閣官房デジタル行財政改革会議事務局へ情報共有させていただきます。</p>
3	<p>我々の職場では、福祉の総合相談窓口を掲げ、様々な相談を受けています。</p> <p>この窓口に限らず、福祉保健部で共通の悩みとして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 相談に対応するスキルの平準化</li> <li>2, 迅速な相談記録の作成</li> <li>3, 福祉保健部内での速やかな情報共有</li> </ol> <p>の3点があがります。</p> <p>1については、 人事異動、経験値やスキルなどにより職員によって対応の精度に差が出ることを防ぎたい。 質問内容やご案内窓口などの提示をAIで支援してもらえたらスキルの平準化が可能であると同時に、職員の精神的な負担も軽減できる。</p> <p>2については、 聞いた話の記録を残す作業に大変な時間と労力を要しているため、話が終わった途端に記録ができてるようにAIを活用できたら、時間が買える。 同時に、職員の負担も軽減できる。</p> <p>3については、 窓口をつなぐ際に口頭や紙で情報を伝達しているため、その情報の精度が一定でない。この部分をIT化できたら、瞬時に正確な情報共有が叶う。 というメリットを求め、AIの導入を模索している状態です。導入にあたり、価格も重要な判断材料になります。 今後の参考にさせていただきたいと思います。</p>	<p>御意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>引き続き、福祉相談分野での負担軽減に寄与できるようにしたいと考えております。</p> <p>なお、価格につきましては、項番5②、③の回答をご参照下さい。</p>
4	<p>相談記録PFにつきまして、IPアドレス等によるアクセス元制限は実施されていますでしょうか。</p> <p>（質問背景）事業者様との共有を前提とすると、ネットワークはインターネット経由での利用を想定されている点は理解しております。一方で、取り扱う情報が機微であるため、URLおよびID・パスワードを知っている方が、自宅や公共の場所等からも自由にアクセスできてしまわないよう、何らかの追加的対策（例：アクセス元制限、端末制限、多要素認証等）を講じている／検討しているか、ご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>今年度の事業として、相談記録プラットフォームに係る仕様書案を作成しますが、IPアドレスによるアクセス制御に関する記載を行う方向で検討しています。</p>

項番	ご質問・ご意見（事前）	回 答
5	<p>①令和7年8月のデモンストレーション以降、新たに追加された機能等がある場合は詳細を伺いたい。</p> <p>②システム導入に係るコストについて、現時点で想定される金額を伺いたい。</p> <p>③現時点で金額等を示すことが困難である場合は、今後コスト面が示される時期等の予定を伺いたい。</p>	<p>①相談記録プラットフォームに新たに追加する機能として、今年度は人材育成機能についての検討を行って参りました。詳細については、事業報告会でご説明させていただきましたとおりとなります。</p> <p>②、③本プロトタイプは、相談記録プラットフォームの共通化に向けた全国展開の方策の検討に資するためのものであり、このまま製品化されるとは限りません。</p> <p>同プラットフォームの製品化は、令和9年度の標準仕様書の作成以降、製品化を希望する業者において行われることとなります。販売価格は、製品化を行う業者がそれぞれで決定しますので、現時点でお答えすることはできません。</p>
	ご質問・ご意見（参加後）	回 答
6	<p>生活困窮システムから重層システムに切り替えて1年ほどになります。生年月日欄を西暦固定ではなく、和暦も選択、もしくは自動的に両方記載できるように更新いただくと助かります。行政機関の場合、和暦表記の資料が多く、登録が円滑になります。</p>	<p>御意見いただきありがとうございます。本システムにも参考とさせていただきます。</p>
7	<p>重層的支援体制整備事業の実施を行わない自治体に対する展開の方法について具体的な方針がありましたら伺いたいです。</p>	<p>重層的支援体制整備事業の実施を行わない自治体に対する相談記録プラットフォームプロトタイプの取り扱いについては、個別の対応となるかと思います。</p>
8	<p>今後とも情報提供いただけますと幸いです。参考にさせていただけたらと思います。</p>	<p>千葉県ホームページにも随時資料を更新しておりますので、ご参照ください。</p>